年間授業計画 様式例

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科　芸術　科目 総合書道

教　科：芸術　　科　目：総合書道　　単位数：2　単位

対象学年組：第　3 学年　選択者

教科担当者：河西

使用教科書：　なし　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　総合書道　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	・五書体の臨書 ・創作 【知識及び技能】 五書体の特徴について学び、書法の違いを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 起筆の違いを学び、工夫して書く。 【学びに向かう力、人間性等】 教材に基づき、工夫して書く。	・篆、隷、草、行、楷の特徴をとらえて書く。 ・特徴を生かして臨書できているかをみる。 ・得意な書体で作品づくりをし、楽しむ。 ・全紙、条幅サイズに書く。		○		○	制作手順 完成作品	○	○	○	20
2学期	・北魏時代の楷書 【知識及び技能】 それぞれの時代の楷書の違いを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 筆の使い方、運筆を学ぶ。文字の美しい流れを感じ取る。 【学びに向かう力、人間性等】 教科書に基づき、好きな書体で工夫して書く。	・特徴ある字形を学び、作品を作る。 ・北魏時代の文字の特徴が表現できているかをみる。		○		○	制作手順 完成作品	○	○	○	30
3学期	・百人一首 【知識及び技能】 仮名の美しい筆法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 いろは歌　ひらがなの流れるような美しさを学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 教材に基づき工夫して書く。	・好きな句を選び、かなの美しさを鑑賞し、表現する。			○	○	制作手順 完成作品	○	○	○	20
											合計
											70